

学校評価（自己評価・学校関係者評価）に係る評価項目（学校評価書）

* A:よく当てはまる B:ほぼ当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったく当てはまらない

分野（目標）	評価対象項目	自己評価	学校関係者評価項目	評価
1 学校運営全般	(1)教育目標や方針・重点目標等はわかりやすく適切である。 (2)学校運営は適切に行われている。 (3)取り組むべき教育課題に対して改革・改善を進めている。	B	学校運営全般が適切に行われているか。	B
		B		
		B		
2 当たり前のことが当たり前出来る生徒の育成	(1)基本的な生活習慣（挨拶・服装・時間厳守等）の確立に関してきちんと指導している。 (2)わかる・できる授業を実践し、基礎学力の向上を図っている。 (3)朝読書の活用等、読書活動を推進している。 (4)多様な進路希望に対して、個に応じた指導を行っている。 (5)支援委員会の機能向上を図り、特別な支援が必要な生徒に適切な教育活動を行っている。 (6)「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業の研究・実践をとおして、教科指導力の向上を図っている。	B	当たり前のことが当たり前出来る生徒の育成は行われているか。	B
		B		
		A		
		B		
		B		
3 地域貢献の推進	(1)総合的な学習の時間「遊佐の自然と文化」など地域の特色を生かした教育活動を進めている。 (2)インターンシップや企業開拓など進路実現に向けた連携を図っている。 (3)ボランティア活動の充実に努めている。 (4)かわら版やホームページ等により教育活動の理解につながる広報活動を行っている。 (5)教職員は、生徒・保護者・地域住民に対して誠意を持って接している。	A	地域と連携した教育活動が展開され、地域貢献が行われているか。	A
		B		
		B		
		B		
		B		
4 新たな学校づくりへの適切な対応	(1)魅力ある総合学科にする教育活動を実践すると共に、28年度開講の「デュアル実践」の充実に努めている。 (2)「産業社会と人間」の取り組みなどキャリア教育の充実に努め、1年次から進路目標の早期確立に努めている。 (3)1学級規模での特別活動の充実及び学校組織の整備を図っている。	A	魅力ある総合学科に向けた取組みが適切に行われているか。	A
		B		
		B		
意見・要望等	<p>学校関係者評価委員の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の姿を見ると、挨拶も服装も大変よい。生徒も伸び伸びとしている。様々な場面で生徒たちが地域と関わっている姿を目にしている。 ・何事も人任せにできない、人任せにしない小規模高校ならではの良さがある。高校生活をしながらも少年議会やボランティアに取り組む姿は頼もしく思える。 ・「デュアル実践」で学ばせたいこととして、自主性が挙げられている。今の人たちは指示待ちが多いと感じている。実習で慣れてきたら、先のことを考える、自ら求めていく等の姿勢を育てほしい。 ・生徒がおとなしい、声が小さいなどの報告もあった。このあたりをクリアしていかないと、就職やその後で苦労する。規模の問題はあっても、自信をもって対応できる生徒、活発な生徒の育成を進めていただきたい。 ・地元の皆さんは、地域の学校という意識でみている。大切なことは生徒と地域の接点を持つこと。学校行事に近所やお世話になっている方々を誘うなど、地域の方に学校を開放し、地域に溶け込んだ状況を作ることと考えてほしい。 			